

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2022/10/12	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	渡辺 正洋
レジメン名	キイトルーダ+tri-weekly TC(ホスアプレビタント)+アバスチン(子宮頸がん)		
疾患名	子宮頸がん	適応の備考	
適応分類	進行・再発		
1コース日数	21	日間	総コース数
			6
			コース
			催吐性リスク
			高度

抗がん剤投与量・投与日 | キイトルーダ200mg/body day1、パクリタキセル175mg/m² day1、カルボプラチン5AUC/body day1、アバスチン15mg/kg day1

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート/方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					
	点滴静注		/	/																						
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	キイトルーダ	200 mg / body	30 分	●																					
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					
	点滴静注		/	/																						
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																					
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	デキサート注66mg	2 本 / body	15 分	●																					
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																					
		ファモチジン注20mg	1 本 / body		●																					
		ボララミン注5mg	1 本 / body		●																					
6	主ルート	ハロ/セトロン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																					
	点滴静注		/	30 分																						
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	パクリタキセル注	175 mg / m ²	3 時間	●																					
8	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	カルボプラチン注	5 AUC / body	60 分	●																					
9	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	アバスチン注	15 mg / kg	90 分	●																					
アバスチン投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。																										
10	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					
	点滴静注		/	/																						
経口投与		デカドロン錠	8 mg / body								●															
		分2 朝食後	/																							
経口投与		デカドロン錠	16 mg / body									●	●													
		分2 朝食後	/																							

【投与上の注意】

- キイトルーダ: 0. 2~5 μmのインラインフィルターを使用して投与する。
- キイトルーダ: 希釈後の最終濃度を1~10mg/mLとする。
- キイトルーダ: Infusion reaction経験例では次回より投与前1.5時間(±30分)に以下の薬剤で前処置を行う。
 - ・ レスタミン5錠経口投与(又は同等の抗ヒスタミン薬)
 - ・ アセトアミノフェン500~1,000mg経口投与(又は同等の解熱剤)
- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- アバスチン: 希釈は生食のみ。
- アバスチン: 投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。
- パクリタキセル: 前投薬としてデキサート注、ファモチジン20mg、ボララミン注5mg静注が必要。
- パクリタキセル: DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。
- パクリタキセル: アルコール不耐症がないことを確認する。